

## 樺太湿原紀行

松田 行雄(松本市旭1-9-13)

(1997年5月26日～6月2日)

森和男(東アジア野生植物研究会)さんの呼びかけでヒトツバオキナグサ観察の旅に同行できた。その折、短時間であったが湿原で車を止め、湿原植物(\*印開花)を記録したり、ミズゴケ類(Sphagnum)を少々採集してきたので湿原植物とミズゴケ類を報告する。標本は全て長野県自然保護研究所へ納める。

## ①オノル北の湿原

POBEDINO～TYMOVSKOYEの間。Onor北約16km。Alt. 160m。

見渡す限りホロムイツツジが一面に生育する湿原地帯。\*ホロムイツツジ・\*ヤチカンバ・\*ヒメシャクナゲ・\*ワタスゲ・モウセンゴケ・ヒメツルコケモモ・ヒメイソツツジ・スギゴケ。

植生調査: 2m×2m ホロムイツツジ5・5, ヤチカンバ1・2, ワタスゲ1・2。

*Sphagnum capillaceum* (Weiss) Schrank スギバミズゴケ, *S. fuscum* (Schimp.) H. Klinggr. チャミズゴケ, *S. amblyphyllum* (Russow), アオモリミズゴケ, *S. apiculatum* Lindb. サンカクミズゴケ, *S. lindbergii* Schimp. フサバミズゴケ, *S. angermanicum* Melin., *S. balticum* (Russ.) C. Jens., *S. recurvum* var. *brevifolium* (Lind. ex Braithwait) Warnst., *S. magellanicum* Brid. ムラサキミズゴケ。

## ②サカイツツジ満開の湿原 POBEDINO～CHOMUCHOVOの間。Mimy. Alt. 30m。

湿原地帯にカラマツが点在する。落石岬のサカイツツジ自生地に景観、雰囲気似る。

\*サカイツツジ・\*ホロムイツツジ・\*ヤチカンバ・\*ワタスゲ・\*ヒメシャクナゲ・ツルコケモモ・ヒメツルコケモモ・ヒメイソツツジ・ガンコウラン・カラマツ・ホロムイスゲ?。

*S. fuscum* (Schimp.) Klinggr., *S. rubellum* Wilson アカミズゴケ, *S. lindbergii* Schimp., *S. riparium* Åongstr. サケバミズゴケ, *S. amblyphyllum* Russow., *S. angustifolium* (Russ.) C. Jens. コサンカクミズゴケ, *S. lenense* H. Lindb. ex Pohl, *S. magellanicum* Brid.

## ③東サハリン山脈 コルゼビナ山の湿原

IZVOSTKOVYY. Mt. Korzhovina. Alt. 700～900m。

ハイマツ帯の斜面に成立する湿原。キバナシャクナゲ・ツルコケモモ・コケモモ・ヒメイソツツジ・ガンコウラン・モウセンゴケ。

*S. girgensohnii* Russow ホソバミズゴケ, *S. fuscum* (Schimp.) Klinggr., *S. capillifolium* (Ehrhart) Hdwig.

## ④カシボ沼 Alt. 2m. Zaozernaya.

*S. squarrosum* Crome ウロコミズゴケ。

## ⑤馬群潭泥火山帯湿原 Alt. 60m. Pugacheva.

平坦な高層湿原。湿原内は高さ40～50cmのミズゴケ隆起が連続する。ミズゴケ隆起上や周辺には7～8mのカラマツが疎生する。\*ヤチヤナギ・\*マメヤナギsp.・\*エゾノエンコウソウ・\*ヤチスゲ・ツルコケモモ・ミツバオウレン・タチサヤスギゴケ。

*S. girgensohnii* Russow, *S. warnstorffii* Russow ワルンストルフミズゴケ, *S. quinquefarium* (Braithw.) Warnst. ゴレツミズゴケ, *S. capillifolium* var. *tenerum* Crum, *S. teres* (Schimp.) Åongstr. ホソミズゴケ, *S. angustifolium* (Russ.) C. Jens., *S. magellanicum* Brid.